

自分の身は自分で守ろう！ Part 3 『火災からのサバイバル』

こんな所が危ない!! <家ではこんな所に注意しよう>

<p>① コンセント…埃やゴミが溜まってないか？古くなって、熱を持っていないか？</p> 	<p>② たばこ…消し忘れていないか？灰皿に吸殻がたくさん溜まっていないか？</p> 
<p>③ 金魚ばち等…直射日光が当たる所に、レンズと同じような働きをするものが置いてないか？</p> 	<p>④ コンロ…揚げ物を調理する時は目を離さず、火が衣服につかないように気をつけ、火から離れる時は必ず火を消そう。</p> 
<p>⑤ 火の出る物…小さい子どもの手の届かない所にしまっておこう。</p> 	<p>⑥ ストーブ…火のついた状態で動かさない。燃えやすい物はストーブから十分に離し、スプレー缶はそばに置かないようにしましょう。</p> 
<p>⑦ お風呂…沸かし過ぎないようにしよう。</p> 	<p>⑧ ろうそく…長時間つけっぱなしは、やめよう。</p> 

自分の家で火災が起きた時は？ <とにかく火災を知らせよう>

「火事だあ！」と大声でさけび、とにかく廻りの人に知らせる。声が出ない時は、金物をガンガンたたく。火災報知器や非常ベルがあれば、鳴らすようにしましょう。

避難する時は？ <火災で怖いのは、火そのものよりも煙>

煙には有毒ガスが含まれているため、たくさん吸い込むと意識がなくなるなど危険なので、煙の中を逃げる時は、できるだけ姿勢を低くし、ぬれたタオルやハンカチで口を覆って、煙を吸い込まないようにしながら、服装や持ち物にこだわらず、早く逃げましょう。